

開催日時：平成25年9月26日（木）

14:00～16:00

開催場所：徳島市役所8階 庁議室

第5回 ひょうたん島川の駅ネットワーク市民構想会議

会議録（要約）

【出席者】

委員：10人

阿部委員 大谷委員 岡部委員 近藤委員 長澤委員
中村委員 間委員 服部委員 真鍋委員 矢部委員

オブザーバー：5人

徳島県県土整備部 河川振興課

徳島県県土整備部運輸局 運輸政策課港湾空港経営室

市側：18人

事務局（都市整備部 再開発推進室ほか）

傍聴者：0人

【会議プログラム】

- 1 開 会
- 2 議 事
- 3 閉 会

【会議の内容】

- 1 開 会

挨拶（会長）

2. 議 事

(徳島市役所 8階 庁議室)

会長により進行

- ・第4回市民構想会議のまとめ(報告)
- ・川の駅候補地の整備について
- ・ひょうたん島シンボルエリアの将来像について
- ・活動団体ヒアリング調査(報告)
- ・川の駅を核とする活動推進のための組織(案)及び川の駅候補地を拠点とする活動団体分布図
- ・第3回ワークショップについて

4. 閉 会

次回開催予定

次回の開催は、平成26年1月初め頃を予定。

以 上

第5回市民構想会議のまとめ(平成25年9月26日)

注) 事務局意見は回答を求められた場合のみに発言した

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棧橋だけの話であって、乗り降りする為のものがないが、これはどういう認識で考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年4月に平成24年度に話し合った内容をまとめた中間素案を作成し各委員にお送りいたしました。その中でご説明したとおり、まずは川の駅舎を整備するのは新町橋河畔棧橋と考えています。これは新町西地区の再開発事業とあわせて、再開発ビルの中で20坪程度の場所を確保して、拠点となる川の駅舎として整備したいと思っています。次に助任橋袂棧橋ですが、これは平成26年度に実施設計に着手し、平成27年度に棧橋を整備する予定です。万代中央ふ頭棧橋については、アクア・チッタが事務所を構えているので、将来的にアクア・チッタとの協議を行いたいと思います。その他の駅については、利用状況を見極めながら考えさせていただきたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅をつくるということは、どこかに待合場所がある、建物があるというイメージがある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅舎も含めて考えるべきではないのか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新町川袂棧橋は、いつ頃できる予定か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新町橋河畔棧橋及び拠点となる川の駅舎は、再開発事業の竣工とあわせてできる計画をしています。完成は平成29年度初めを想定しております。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新町橋河畔棧橋ができて初めて、駅の使用が始まるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新町橋河畔棧橋及び拠点となる川の駅舎ができた段階でグランドオープンという位置づけになります。助任橋袂棧橋が平成27年度にオープンした段階で、本格的な実証運航を行いたいと思っています。全ての棧橋で周遊船がとまるかどうかは、実証運航の状況をふまえて、今後中村さんと協議させていただくようになります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 棧橋だけでとりあえず駅としてスタートして、実証実験の結果を見ながらその地域にとってどういう駅がいいのかということ、これから考えるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の皆さんの声や、棧橋をつくったけれど、そこでどれだけ活動が盛り上がるかということ、今の時点では分からない部分もあります。市民の方、各団体の方と一緒にその推移を見守りながら、駅舎の検討をしていきたいと考えています。 	

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・万代中央ふ頭棧橋のアクア・チッタさんのところは、現在は駅舎に代わるようなものが活動拠点を含めて、駅としての機能は不十分ではあるが持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年春に、「アクア・チッタの事務所を川の駅という位置づけにさせてもらって、活動をするのはどうですか」というお話を個別にさせていただいたことはあります。アクア・チッタやにぎわいづくり協議会の皆さんと相談して、川の駅舎に替わるもの、若しくはそれ以上のものが何かできないか、利用者の方が利用しやすいような環境を、共にボランティア精神を發揮していただきながら、やっていけたらいいと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の中に活動のできる場があって初めて、活動が行われると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・棧橋だけがあっても、今後の実証実験を含め、その地域の方の活動のベースができるのかという疑問を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が整備する予定である新町橋河畔棧橋と助任橋袂棧橋については、希望者が周遊船の運航時間外には利用できないかと思っています。特に新町橋河畔棧橋については、シンボルエリアとして水都を実感してもらえる場所にしようという目標で頑張っていますので、申請していただいたら、適正な料金で使っていただけるような制度を検討したいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・棧橋は特定の人しか使えないのか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・棧橋の運用方法や実証実験でこういった使われ方をするかも含めて、運航の規約までもこの委員会の中で考えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あわぎんホール前棧橋と文学書道館寂聴棧橋は徳島県が設置しているので協議をしながら、その方向性を検討したいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、あわぎんホール前棧橋や文学書道館寂聴棧橋等はどうなるのか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島文化公園前棧橋については、シミュレーションを行ったときも、利用者が少ないところであった。これで棧橋をつくって実証実験といっても、どうかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋というのは、来年度実施設計の予算要求を行い、平成27年度には棧橋を整備したいと考えていますが、徳島文化公園前棧橋は動物園跡地利用方針等見極めながら整備を検討していきたいと思っています。助任橋袂棧橋の駅舎は、新町橋の拠点となる川の駅舎の活動状況や利用者の声を参考にして整備を検討したいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋もはじめ大学生等の活動の拠点となる場所というので、浮上してきたと思うが、今では利用するものがうたわれていない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・実際駅舎を考えていくときは、棧橋のように設計図も書くし、機能も書くし、きちっと進めていくという考えを持っているということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計から着手して、きちんとその方向性を整理して進めたいと考えています。 	

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議ではできないので、やるとしたらもう一度会議を開くか、開かなくてもやるという手順をふむということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民構想会議ではなく、ひょうたん島活性化のための組織というのを設立したいと思っていますので、そういったものを活用し、利用者の方々の声を聞きながら、進めていければと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市の活性化や、お客さんがたくさん来てくれるという観点から行くと、できることを早めに進めて欲しいという考えを、みんな持っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋は、来年度実施設計にかかって、平成27年度には完成をさせたいと思っていますので、完成に合わせて実証運航をしたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・どんどん市を活性化するために進めるということで、駅舎についても書いていった方がいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町西再開発の中で拠点となる川の駅舎は、ある程度の広さを確保して、待合スペースや駅長机、ギャラリーのような展示スペースも整備し、そこを拠点としていきたいと思っています。助任橋袂棧橋が完成すれば、実証運航としていくつかの駅のポイントを、手軽な移動手段というかたちで、運航していくことを考えています。新町橋河畔棧橋と拠点駅舎ができた時が、ひょうたん島川の駅のグランドオープンという、位置づけで考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋をより利用してもらう為に今から何をするかという話をせずに、利用状況を見て、27年度からまた検討しましょうということになるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋の川の駅舎については、次回理想の施設のような資料提示は可能です。実際に川の駅舎の利用状況を検証しないと、分からない部分もありますが、助任橋袂棧橋については、中村さんにご意見をいただいで次回こういったものを目指すといったものを考えていきたいと思えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・何もないところからやりましょうというよりも、少しずつ進めながら考えていくというのも、一つの方法である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回までに、検討案を提示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・できるかできないかは別として、書いておくということが大切なので次回までに検討していただきたい。 <p style="text-align: center;">気持ち的に皆さん、のってくると思う。</p>	

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・整備の順番があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町橋河畔棧橋の拠点となる川の駅に、駅舎を設けますが、公の施設の管理はいろいろなお苦勞があるので大変だと思います。公共施設となりますと、期待度はかなり高いと思いますので、まずはそこを有効に使ってもらい、駅舎が1箇所では対応ができないなどの実績のもと、助任橋袂の駅舎の整備を検討していきたいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・その時には人が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅長さんがいる施設ということでしたら、まずは新町西に拠点となる川の駅舎を整備させて頂きたいと思います。各活動団体のヒアリングの「駅に期待すること」というところで、中村さんから、「起点と各駅の連絡が取れるシステム」も必要とのご意見をいただいておりますが、これはまさに運航されている方でないといけないことだと思います。助任橋袂棧橋では、このような利用者が問い合わせできるようなソフト面も考えていければいいと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかक्तつくるのであれば、誰か人がいるところをつくってあげるべきではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川を利用している人は安全や周辺の環境を一番に考えるし、利用してもいいのかなどを聞ける連絡先や管理者がいると、本当の意味で使って行けるものになっていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうネットワークができるだろうと思っていた。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋をつくってみて利用状況を見てということだが、たぶんつくってもあわぎんホール前棧橋と文学書道館寂聴棧橋と同じような状況になると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 助任橋袂棧橋は、必ず多くの方に利用してもらえと思う。整備に至る過程が文学書道館寂聴棧橋と違う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 周遊船のお客さんの中で、徳島城博物館へ近いから助任橋袂棧橋で乗りたいという人がいる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 27年度にもう一度建物をつくるというのは、無駄遣いになる恐れがある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・急いで27年度に完成というよりも、ソフト面が固まってから設計をするのも良いと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点のある万代中央ふ頭などで県と協力をして、話を進める方がまだ前向きな気がする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋にできたら、ひょうたん島川の駅ネットワークも弾みがつくのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 将来こんな建物が建ちますという画を、棧橋の近くに建てておけばなおさらいい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ポートにするとこれで終わりになってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅としてスタートさせて、利用者の声を聞きながら、次につなげていきたいと考えています。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・川の駅という名称にして、次に繋いでいけるようにしてほしい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・願いで終わることなく実現しないといけない。 		

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地の整備について	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体としては、栈橋ができるということだけで、だいぶ実感が違ってくると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは栈橋をつくって利用者に川の魅力を認識していただいて、徳島の魅力を再発見していく中で、並行して活動を活発にしていくというやり方を考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> 栈橋から始めてもいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 構想案をまとめて頂いたら、可能な限り、構想案に基づいて進めていきたいと思っています。助任橋袂栈橋の駅舎については、中村さんと相談して次回提出したいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> 実際に工事をするとなると予算も必要になってくるので、同時に全て整備というのは難しいと思うが、駅舎のイメージをつくっておくと後々には実現して行く。それが継続していく中では大事なことだと思ふ。 	<ul style="list-style-type: none"> 川の駅舎をつくれる可能性が低いところは川の駅というよりも、川のポートみたいな表現をするのは一つの方法ではありますが、活動状況によっては、より良いものが付加されていく可能性がありますから、イメージとして川の駅という名称を使わせていただいた方が、市民や県外の方にも混乱無く使っていただけたらと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんの期待のあらわれである。 	<ul style="list-style-type: none"> 今の時点では全ての候補地を川の駅という総称で呼ばせていただいて、実証運航、本格運航のなかで川の駅や栈橋を拠点とする各活動団体様からのご意見や活動状況を見ながら、具体化をしていきたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> まとめが次に繋がっていくようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回川の駅ネットワーク構想案というたたき台をお示しし、そこでご意見を伺いたいと思っています。概要版プラス資料版という構成になると思います。事前に各委員にお送りして見ていただいた後に最終の市民構想会議を開く予定です。そこで修正点等があれば事務局、会長、副会長とで協議、修正をして、それを再度各委員の皆さんにお送りして確認をしていただいて、完成というイメージを持っております。
	<ul style="list-style-type: none"> 川の駅構想の中で「こういうふうなイメージのものを川の駅としたい」、という議論を今年度の会議で行われると思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> あと2回しか会議が無いというなかで、もう少し駅という具体的な位置づけが必要ではないかと。
	<ul style="list-style-type: none"> 駅をつくる為のネットワーク会議だと思っているが、栈橋をつくるというところまでとまっている気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 市としてこのネットワークの会議の中で、どういうふうなフィニッシュで終わろうとしているのかが分からない。

キーワード	委員意見	事務局意見
川の駅候補地の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・運航という状態については、現在中村さんが25年間やってきて、ある程度実証的な裏付けはあると思うので、これから新たに運航実験も含めながら検討していくというのは、話を聞いていて合点がいかない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島をぐるりと1周する周遊船としての実績はありますが、川の駅という位置づけで利用者の方に手軽な移動手段とかかたちで使っていただくという実績はまだありません。各駅で乗り降りする作業、天候等による利用状況等を実証実験とかかたちでさせていただいて、利用者の声、新町川を守る会からの運航におけるご意見を伺っていきたいと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも駅の候補地である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁前棧橋は非常に重要なポイントと考えています。今年春に県と協議をした結果、「しばらくは防災・減災へ予算を重点配分する方針なので、今回の候補地からは外してほしい。」という回答をいただきました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁前棧橋も候補地として残せるのであれば残してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> しかし、「県庁前棧橋(未整備)については、今後川の駅の利用状況等を見極めながら、将来的な検討課題とする」ということで、整理していますが、県庁前棧橋も候補地に入れてもいいのではないかという意見もいただきましたので、条件付きで案に入れます。県の了解を得られれば、候補地として位置づけを検討するというにしたいと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンチョピアの所にも1個あった方が地域の中で、利用価値もあるのではないかと話もあった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・助任橋袂棧橋も候補地というのであれば、ネットワーク会議の意見の中で県庁前棧橋も候補地として残すべきではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンチョピアの所もこれからの協議の可能性として、市は県に対して候補地としての位置づけは残して欲しい。 <p style="text-align: center;">県と協議をして、資料の最終取りまとめでは、候補地が増えるかも知れない。</p>	
ひょうたん島シンボルエリアの将来像について	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島川の駅ネットワークという観点から、その構成要点の一つと位置づけられるシンボルエリアを、この会議から発信できたら一つの将来へ向かっての成果だと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新町橋から両国橋の間は、中心地として優れたエリアだと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川からというアプローチでこのエリアを魅力アップするとよりいいと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実現という話になってくると、まだまだ課題はある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の最後の報告書を書くときに、一つの成果として構想に入れて欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・良くなるためには、いろいろと課題はあるが、時間をかけてやっていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・北側の道路と水際公園の境界が、緩やかに道路に繋がっていくというのは非常にいいと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・南側の市の迂回路の部分に、コミュニティ道路やポケットパークがあると、子供たちやお年寄り達が少し休めたりできる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボードウォーク側にもう少し、人が集まって何かできるというようなスペースが欲しい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークができるのではないか。 ・点として繋がる広がりが、南側のシンボルゾーンとしてより効果的になるのではないか。 		

キーワード	委員意見	事務局意見
<p>ひょうたん島シンボルエリアの将来像について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひと・まち・川をつなぐ」とありますが、つなぐという意味では一つの小さいポケットパークが、よりつないでいける。 ・東新町の動線のコミュニティ道路をつくるのではなくて、もう少し北側で考えたように南側も迂回スペースをいかにどう使うか。 ・建築士会関係の方々、これから意見交換をしながら整備していければいい。 ・新町橋も助任橋もものすごく急勾配である為、橋を下げればものすごく感じが変わってくる。 ・整備を公共の場から初めて行くと、だいぶ違うのではないかと。 間接的にネットワークをいかに活かすかという話である。 人が集まるためにはどうしたらいいのかということである 	
<p>活動団体ヒアリング調査について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングの資料を見て、すごく感動した。 ・これらができると魅力がアップする。 ・将来の課題、将来構想に繋がるものがたくさんある。 ・こういうのを持っているというのは、夢を持っているということなので、ぜひこういうのを大事にして欲しい。 ・この構想会議の中の位置づけとしたら、将来のための貴重な資料という位置づけである。 ・ひょうたん島を活用している、主体的にかかわっている人たちの言っているイメージをできるだけ反映させていけるような構想が、アウトプットだと思っていた。 ・そこの時間を取ってもっと議論をやりたかった。 ・水際公園のイメージもいいが、こういう意見を入れて助任橋袂棧橋と徳島文化公園前棧橋のイメージを作ってもらいたい。 ・どういうふうネットワークにしていくかというときに、組織ができてできることをどうやって取り組むか、誰が取り組むかなどが、見えてくる位のものが本当は欲しかった。 ・目の前の構想案にうまく反映させるということに、部分的に使える。 ・次回までに使えるものは使う。 ・皆さん活動している人たちなので、一言一言をおうごとに説得力がある。 ・無理をしなくてもいいので、これを次回の構想案に対しての説明文というよりも、むしろこれを活かして次に活かすことが大切である。 ・場所場所で皆さん頑張っている。 ・川は繋がっているのに、活動団体は繋がっていない。 ・川の駅をどういうふうにつくっていくかということが、一番必要な部分になってくる。 ・今ばらばらに活動している団体を、連絡協議会のようなもので繋げる。 活動は川で繋がっていく。 みんながそこへ行けば何をやっているかすぐ分かる、逆にその団体から市民に対して、県外に対して発信していくといったものがないと、ネットワークにはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見ですので、可能な限り盛り込みたいと思います。

キーワード	委員意見	事務局意見
<p>川の駅を核とする活動推進のための組織(案)及び川の駅候補地を拠点とする活動団体分布図について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤整備、いろいろな市民活動、市民の皆さん、観光客の皆さんが気持ちよく有意義に楽しめる、幸せになるという所を目指しているので、ハードとソフトの両方がいる。 ・ 市民会議の方向性としては、ハードとソフトの両方を提案して次に繋げていくということか。 ・ ネットワークづくりと、口で言うのは簡単である。 ・ 気安く話ができないといけない。 ・ みんなを集めて何かをするということは、徳島の川にかかわっている人が集まり、自由に意見を言えば、おのずとネットワークができる。 ・ ネットワークづくりは、こういう交流の場がないとできていかない。 ・ 全国から両国ポンツーンに来るから、普通に広がりができ、ネットワークができていく。 ・ 市民が集まっているいろいろな話ができる場所をつくっていききたい。 ・ いくら会議を開いたところでなかなか難しいと思う。 ・ 普段から行っていける、そういった場所があったら、ネットワークづくりは勝手にできていく。 目的もいいし考え方もいいのでこれをいかに実現するかということである。 上手に自然発生的ではないが、いろいろと参考にして上手くしていただきたい。 すぐにはできないと思うので、とりあえず書いておいて次に手法を考えてやっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想案がまとまりますと、それを目指して次に向かって動いていきたいと考えています。
<p>第3回ワークショップについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査をして、それを整理して、今後のネットワークづくりの検討資料としてまとめていくのは良いことである。 	
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局との連携だが、問い合わせなどがあったら協力をお願いしたい。 ・ 次回の構想会議は来年か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年1月初め頃を予定しております。できたら資料をお送りさせていただきます。 ・ 前回の市民構想会議において、構想案を市長へ手渡す際にとくしまマルシェの会場はどうかという提案をさせていただいたが、今後のスケジュール等を精査した結果、2月の初旬頃に市役所で市長に報告をしていただくという方向で今現在調整をしております。その際に、委員の皆様にご参加いただきまして、近藤委員長と一緒に市長に報告していただきたいと思っております。この日程についても改めてご連絡いたします。